

校長室だより No 5

意見を募り 皆で学校を創る

2022年 5月13日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

ゴールデンウィークが終わり、いよいよ全ての教育活動がスタートしていきます。約1か月前に実施した授業参観に対するアンケート結果をHPから公表しました。全てのご意見を全ての職員が目を通しました。保護者の皆様も、全てに目を通していただくと幸いです。

<https://kashiwa.ed.jp/tsuchi-e/wysiwyg/file/download/1/9033>

学校教育は大きな転換点に来ています。その大きな要因は世の中全体の多様化・多様性と社会全体が大きく変化しているものと考えています。一つの物事を通しても様々な感じ方や考え方があることが、今回のアンケートをご覧になっても感じられることと思います。何か事を行おうとする場合、そこには何通りもの方法があります。方法だけを議論してしまうと、考え方や価値観の違いから、議論が平行線をたどってしまうことになります。そこで大切なことは、最上位の目標や目的をしっかりと共有することだと考えています。そこで、柏市の教育の中における土小の教育活動の最上位の目標について、教育課程説明会で柏市の4つのCと土小の卒業時に目指す姿として以下のようにグランドデザインに示したものを説明をさせていただきました。

卒業時に目指す姿

自分を知り、自分を表現する

【Control 自己肯定感】

他者を認め、他者と助け合う。

【Communication 協働】

目標をもって、調整しながら、粘り強く取り組む。

【Challenge 粘り強さ】

学んだことを、実生活や実社会で活かす。

【Concept 振り返り】

昨年度は4つのCと9つの資質・能力としていたものを、昨年度の教員メンバーで2月に4つの資質・能力に絞り込み、今年度の教員と学校運営協議会準備会の外部の方々で4月当初に検討し、決定したものです。土小学校での全ての教育活動は、身に

付けさせようとする様々な知識や技能と同時に、この4つの力のどれかを育成していくために行われているものになります。そして、これからの教育では、知識や技能よりも、ここにあげた資質・能力の方が重視されいきます。それは、知識や技能は時代と共に変わっていくが、資質・能力は時代の変化に左右されず生きる力となっていくものだからです。この最上位に掲げた4つの目標を実現するために、「現状をこう変えた方がよい」「他にこのような方法がある」「現状を続けてみよう」といったご意見（対案があるものは不平・不満でなく意見）を保護者や地域の皆様からいただき、目標を共有し一緒に学校づくりを行い、協働し、子供たちの未来を育てていくスタイル、それがコミュニティー・スクールとなります。